

42日の夏季休業が終了して第2ステージが始まりました。真っ黒に日焼けした生徒、横顔がキリッと大人びてきた生徒、身長や体重の変化が著しい生徒等々、今更ながら思春期の成長の早さに驚きます。第2ステージは「運動会」「輝石祭」と大きな行事があり、特に、3年生の士気の高まりを感じています。学習にも自ら取り組む意欲を喚起したいと思います。

さて、夏休み中、様々な行事等がありましたので紹介します。

○平成29年度「中学校総合体育大会」

9種目が県大会に出場してそれぞれに活躍しました。特に、団体では男子ハンドボール部、個人では陸上競技部の3年女子100M鈴木わかばさんが関東大会に出場して活躍しました。詳細については学校ホームページに掲載してありますのでご覧ください。また、文化部では、本校の吹奏楽部がマーチングで県予選を勝ち抜き、来たる10月1日(日)に千葉県で行われる東関東大会への出場が決まっています。そこから更に上位の全国大会出場枠に入れるように頑張りたいと思います。

保護者の皆様にはそれぞれの大会で、送迎や炎天下での熱のこもった応援、ありがとうございました。

○下野市広島平和記念式典派遣事業への参加

今年で4回目となる標記派遣事業が8月5日(土)～7日(月)の予定で実施されました。本校からは、浦木 航大くん(2-2)倉井 遥さん(2-7)が下野市4中学校代表として参加しました。二泊三日の研修でしたが「被爆体験者講話」「平和記念資料館見学」「平和記念式典参列」「原爆の子の像への折り鶴奉納」「灯籠流し」など貴重な体験をしてきました。

この研修で学んだ多くのことは10月28日(土)

「輝石祭」のステージ発表の中で発表される予定です。毎日、刻々と変化する世界情勢の中で、平和の尊さ、戦争の悲惨さを訴えます。



○下野市中学生海外派遣事業への参加

旧石橋町(昭和50年～)から続くドイツ連邦共和国の「ディーツヘルツタール」(旧シュタインブリュッケン)との姉妹都市関係の中で3年に一度行われている「中学生相互派遣事業」に市内中学生14名が参加しました。本校からは、坂本周平くん(3-1)庵原直樹くん(1-2)細野花さん(1-5)の三名です。8月20日(日)～26日(土)の六泊七日の日程でした。その間ホームステイしながら現地の中学校で授業体験をしたり、ドイツの伝統文化に触れたりしながら様々な人達との交流を深めてきました。相互交流ということで来年の3月にはドイツからの中学生がこの下野市を訪れる予定です。その時、交流の主会場として石橋中学校が使われる事が決まっています。



全校生徒で有意義な交流やおもてなしができればと考えています。

○下都賀地区「少年の主張発表下都賀地区大会」出場

とちぎ未来財団が主催する標記大会に、本校3年3組の若林楓華さんが出場しました。主題は「未来を考える」で堂々と発表することができました。その発表内容は輝石祭の中でも発表することになっていますので、どうぞご期待ください。

○「いきいき学び塾」を開設

夏季休業中に学校の教室等を開放し、下野市学校教育サポートセンター職員や本校教職員が意志のある生徒の個別学習の支援にあたる標記事業に多くの生徒が参加しました。夏季休業中の8日間（1日は台風で未開設）を開設しましたが毎日20人程度の生徒が訪れて学習をしていました。参加した生徒の「参加理由」としては、「苦手教科の克服」「静かな環境で学習したい」「一人だと長続きしない」など様々ですがそれぞれに有意義な学習の時間としていました。

○第1回下野市中学生議会参加

下野市の将来を担う中学生が議会を体験することで、地方自治の仕組みや市議会の役割を理解し、論理的コミュニケーション能力の育成や、「まちづくり」を身近なものに感じることを目的として8月19日(土)に下野市議会議場において標記模擬議会が開催されました。

本校からは生徒会を中心に、本田 愛さん(3-5)、伊沢陽奈乃さん(3-3)、浦木航大くん(2-2)、高山はづきさん(2-1)の4名が参加しました。そこで、本田さん、伊沢さんが質問した「市内に中学生が自由に集まり相談しながら勉強する場所がない。」という質問に対して、池澤教育長から「各中学校において、平日に学年、学級にかかわらず集まって学習できるような場を確保する。」という答弁がありました。現在、石橋中においても放課後の自由学習室についてルールづくりを進めているところです。詳しいことが決まりましたら生徒を通じてお知らせしたいと思います。

※運動会の練習始まる！

9月16日(土)の運動会に向けて本格的な練習が始まりました。運動会総団長の坂本大星くんから「私は、運動が得意な人も苦手な人も、みんなが楽しめる運動会を目指したい。そのために短い期間ですが、上級生が積極的に下級生に声をかけて、全員で協力して頑張りましょう。」と始めのあいさつがありました。

本校は伝統として全校をクラス数に応じて縦割り団(今年度は3年生の七クラスに合わせて団を結成しています。)を結成し、リーダーとなって活躍する応援団員を募り、その団員がリーダーシップを発揮しながら団をまとめ、生徒自ら運動会を創り上げていくことを大切にしています。

特に、集団演技の実施は今年で5年目を迎えます。各団の個性とプライドが集約された演技は毎年素晴らしい進歩を遂げています。今年も伝統的な動きを継承しつつも新たな動きや隊形移動を取り入れようと応援団員は夏休み中も話し合いを重ねてきました。ただ、100名近い団員を動かすのは多くの困難が伴います。しかし、それを乗り越え、リーダーとそれを支える



あいさつする3年 坂本大星実行委員長

応援団員の自己紹介と団結式



フォロアーの心が一つになったときには、観る人の心を動かすような美しい集団演技となります。

そのような体験の中で、学年を越えた友情や個々の役割に応じた充実感、達成感を味わわせることで自己有用感、自己肯定感を高めることに繋げていきたいと考えています。

当日は、ご声援をよろしく願います。